

コンダクト×梅光学院大学×貴布禰神社“丸山モデル”構築に向けて

(仮称) コンダクトレジデンス

丸山町マンション C棟新築工事地鎮祭

コンダクト(株) (福岡県北九州市) は6月5日、「(仮称) コンダクトレジデンス丸山町マンション C棟新築工事」の地鎮祭を行った。

本誌(令和5年11月1日号)「(仮称) コンダクトレジデンス丸山町マンション B棟新築工事地鎮祭」で既報の通り(学)梅光学院(山口県下関市)との産学連携プロジェクトを図りながら、故郷の山口県下関市のまちづくりを進めてきたコンダクト(株)和田社長。当時、B棟地鎮祭の神事を執り行った齋主・貴布禰神社の宮司が高齢で後継者問題に悩んでいたことから、和田社長が一念発起して学校に通い、神職の資格を取得。本誌(令和8年1月19日号)「新体制で除夜祭・歳旦祭開催」で報じた通り新神職としてデビューも果たした。以降、梅光学院(中高大)をハブ(中心、中核、集約点)に、貴布禰神社、コンダクトグループが三位一体となって、お祭りやイベントを開催するなど、“新しい地方創生のカタチ”『丸山リバイバル』に取り組んでいる。

コンダクトレジデンス丸山町マンションは、梅光学院中学・高校のグラウンド跡地を当社が譲り受けて、梅光学院大学のPBL(課題解決型学習)として、学生と協力して多世代共生のまちづくりを目指すプロジェクト。今回のC棟は、地上3階建て22戸の賃貸住宅で、敷地面積1,368.11㎡、建築面積423.77㎡、延べ床面積856.27㎡、施工はB棟に続き(株)岡本建設(山口県下関市)。メゾネットタイプ、屋上展望スペース付、トランクルーム付など多数のタイプを設定。最寄りの入江町バス停まで徒歩約5分で、駐車場は敷地外隣接地に30台、駐輪場は敷地内隣接地に16台を予定している。

当日は、齋主・亀山八幡宮による玉串奉奠などの神事が行われ、山口県議会・友田^{たもつ}議員(自民党山口県連 幹事長)、下関市議会・井川典子議員、梅光学院大学・高瀬剛文学部人文学科教授、西中国信用金庫・中原義邦下関A地区ブロック長 本店営業部長、西中国信用金庫・藤田博樹本店営業部次長、丸山連合自治会・荒牧利男会長、貴布禰神社・堤裕司総代、他多数の来賓者が駆け付けた。

友田議員は「40年以上前に(和田社長の)ご尊父と関係があったこともあり、いろいろなご縁があるのだなと思っています。この地で事業をしていただくというのは丸山町にとって大事なことです。丸山町も空洞化となり、(建物が)何も建たない時間が20年。いまは小学校もなくなってしまいました。お年寄りも若者も住んでいただいて、人が集まることで、街が活性化していくことを願います」と話した。

和田社長は「隣が貴布禰神社なので、一体となるようなまちづくりを目指しています。全国的にも旧市街地の空洞化が問題となっています。私どもが丸山町で取り組んでいる“新しい地方創生のカタチ”が先駆けのモデルケースとなり、全国的に評価されていけば良いなと思っています。私は下関出身なので、一役買えるのであればうれしいです」と力強く語った。

友田議員は「40年以上前に(和田社長の)ご尊父と関係があったこともあり、いろいろなご縁があるのだなと思っています。この地で事業をしていただくというのは丸山町にとって大事なことです。丸山町も空洞化となり、(建物が)何も建たない時間が20年。いまは小学校もなくなってしまいました。お年寄りも若者も住んでいただいて、人が集まることで、街が活性化していくことを願います」と話した。

和田社長は「隣が貴布禰神社なので、一体となるようなまちづくりを目指しています。全国的にも旧市街地の空洞化が問題となっています。私どもが丸山町で取り組んでいる“新しい地方創生のカタチ”が先駆けのモデルケースとなり、全国的に評価されていけば良いなと思っています。私は下関出身なので、一役買えるのであればうれしいです」と力強く語った。

